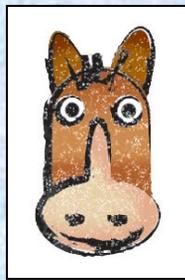


馬の耳

どんな良い話を聞いても、何も行動しなかった私が「馬」ではなく「人間」である証明をする為、勉強会等で学んだことをまとめ、この「馬の耳」を作ることにしました。お世話になっている皆様のために、少しでもお役に立てればと思います。



発行日 2015年6月1日

発行元 (有)沼津電話工事

スマイルワン

小野博文

〒410-0022 静岡県沼津市大岡3916-8

055-921-1551 tel

055-922-1144 fax

<http://www.net-ndk.co.jp/>

ono@net-ndk.co.jp

【聴く(耳を傾け注意してきく)】

職場でも家庭でも“言った”“いや、聞いてない”という場面に よく出くわしますよね！
え？ ない?? (汗)

杉井先生がある時、なんで自分が伝えていることが、こんなにも伝わらないのか？ と不思議に思い、あるテスト(小学校5年生の国語の聞き取り問題)をしたところ、結局、みんなが“聴けていなかった”ということがわかったというのです。

先日、静岡経営塾で、その“どれだけ聴けているのか?”のテストをみんなでやってみたのです。正直、私はちょっと自信がありました。だって、小学校5年生の国語の問題でしょ!?! しかも、三行くらいの文章問題っていうんですもん。

でも、結果を見て驚きましたよ。けっこう聴けていない人多いのです。

あっ、もちろん、私もそのうちのひとりです…
(汗) 教え方の問題じゃなさそうです。

一部、問題を紹介すると…

「二丁目のバス停を過ぎた時、吊革につかまっていた女性が、苦しそうにしゃがみこみました。みかちゃんが運転手さんにその事を伝えると、乗客の方たちが、みかちゃんの方を見ました。」

Q1. さて、しゃがみこんだのは誰でしょう?

Q2. 乗客の方は誰の方を見たでしょう?

みたいな問題なんですけど、(もちろん、聴くだけで、メモとか取ってはいけませんよ。)

そのQ1の答えが、「みかちゃん」になったり、「お婆さん」になったり、Q2の答えが「しゃがみこんだ女性」になったり… どちらの答えも、運転手さんはいなかったかな?(笑)

本当に驚きました。“問題を出します!”って言われても、これだけ聴けていないとすると、普段の会話の中で、言った!言わない!とか、聞いてないよ〜って問題が起きるのは当然ですね。

それを踏まえて、色々なルールや方法を考えいく必要があります。重要なことや、問題が発生しそうなことは、特に注意ですね!

【博文 “鳥”になる! ?】

最近、結婚式などの引出物によく、カタログギフトが使われますよね。先日も引出物に頂いたカタログギフトの冊子を開いて、どれにしようか? 迷っていると、面白いものを見つけました!

それは、“パラグライダー体験!”しかも、地元の富士宮で出来るというものでした。美味しそうなワインにも引かれたのですが、お酒だったら「興水酒店」で買えるし、パラグライダーは、そんなチャンスがなければ、まず挑戦しないじゃないですか。

5月の連休に、「よし!ついに私も“鳥”になるんだ」と、勢い込んで富士宮に向かいました。現地に着き話を伺うと、私が想像していた、インストラクターと一緒に大空を“鳥”のように飛び、空中散歩を楽しむというのではなく、なだらかな丘の上から、一人で飛ぶ(降りる? 汗)というものでした。インストラクターの方の指導で、丘の上から飛ぶのですが、そんな簡単に飛べる訳もなく、最初の数回は、“ヤンバルクイナ状態”でした。

それでも最後には上空20m 距離100mくらいは飛べるようになりましたよ!

ところで、数人のインストラクターの方が入れ替わりで指導して下さるのですが、そのインストラクターによって、伝え方や教え方がまったく違うのです。「ほら、しっかり持って!」とか、「そうしちゃうダメ!」というインストラクターと、「そうそう、そういう感じ!」とか「今のいいじゃないですか!」というインストラクター。

正直、パラグライダー自体、初めての体験ですし“そうしちゃうダメ!”と言われても、やりたくてやっている訳ではなく… どちらのインストラクターの時に飛びやすかったかという点と間違いなく、褒めてくれるインストラクターの方でした。

褒めればいってもんじゃないとは思いますが、教え方でやる気が起きたり、逆にやる気を削がれたりするんですね。私も社員さん等に、教える機会がありますが、相手がどう感じるかを意識して伝えなくてはいけないなあ〜と気づかせて頂きました。

沼津経営塾開催日

6月4日(木)沼津商工会議所 4階会議室D PM7:00より

おのちゃんマン活動日

6月 7日(土) 鮎壺太鼓様 総会

6月13日(土) 三島大社の杜様 PM5時より

6月27日(土) 沼津ラクーンよしもと劇場 PM6時30分より

【ガラケーは必要ない?】

「ガラケー」が2017年以降に生産を中止するといったうわさの中、“ガラケー派”には朗報です。「ガラホ」という端末です。「スマホ」のOS(基本ソフト)で動き、「スマホ」の機能を持ちつつ、形や操作性は「ガラケー」と同じという端末が登場するのです。これなら、使い方が大きく変わることはないようです。



お馬様の
今月のお言葉

お馬様の
今月のお言葉

